

令和5年2月3日

県立大学の基本的な考え方

県立大学の基本的な考え方

佐賀県は、この基本的な考え方を軸として、時代の要請に応える実践的人材を育成する県立大学の設置に向けた取組を進めていきます。

1 背景・課題・目的

佐賀県は、15歳未満の人口割合が全国3番目に高く、子どもが多いにもかかわらず、大学進学時に8割以上（約2800名）の学生が県外に進学しており、佐賀県で学び、活躍したいと思う子どもにとって機会損失を招いている状況です。

○大学教育環境の充実（大学進学時の県外流出防止）

佐賀県は、4年制大学数が全国で最も少ないことから、大学進学の実選択肢が十分ではなく、県内の大学教育環境の充実を図ります。

○地域産業を担う実践的中核人材の育成

社会環境が大きく変わり、デジタル化の流れの中、ITを活用し経営的視点を持った地域産業を担う実践的中核人材を輩出します。

2 設置する大学

県立4年制大学（運営：佐賀県が設置する公立大学法人）

3 設置する県立大学のイメージ

IT（デジタル）と経営（マネジメント）をベースに学ぶ理文融合型の大学（1学部、複数の学びの分野、学科等を設定）

（1）育成する人物像

IT（デジタル）・経営（マネジメント）の素養を身につけ、鳥瞰的な視点を持ち、自ら考え、実践することのできる人材

（2）佐賀だからできる新しい大学の姿 ～佐賀全域を学びのフィールドに、実践的な学び～

企業、研究機関、教育機関など関係機関による実践的・課題解決型の学びや、「デジタルの実証フィールド」「スポーツ」「スタートアップ」など佐賀の施策を活用した学びや研究を進め、学生の主体的な学びを誘発・促進します。

4 大学の設置場所

企業、研究機関、教育機関など関係機関との連携を図る観点と、通学利便性等も考慮し決定します。

5 学校規模（定員）

入学定員200～300人（収容定員1000人前後）を基本に考えます。

6 開学の時期

令和10年度の開学を目途

7 大学運営費

県から大学運営法人への運営費交付金（大部分は地方交付税措置）と、入学金、授業料等を主な財源に運営します。

8 その他

- 県内学生の負担の軽減や、入学者選抜における地域枠・実業系学校枠の設定などを検討します。
- 県立大学と県内高等教育機関との連携・交流を図り、教育・研究の充実に取り組みます。
- 県立大学設置と並行して、県内高等教育機関のさらなる充実について検討します。
- この他、必要な検討を進めます。